

深谷市イメージキャラクター
ふっかちゃん

郷土の偉人
渋沢栄一

「立志」と「忠恕」の思いを

今、あらためて

ことばに

栄一翁みらい宣言

作品集 第一集

はじめに

今年度は渋沢栄一翁が肖像となつた新一万円札が七月三日に発行された記念すべき年となりました。道理を重んじ、節度ある経済の発展を標榜した栄一翁の精神は、改めて大切にすべきものと今の社会においても捉えられております。

深谷市教育委員会では、渋沢栄一翁の精神を受け継ぐ、「立志と忠恕の深谷教育」を推進し、教育活動を展開してまいりましたが、栄一翁の「立志（夢とこころざし）」と「忠恕（まごころと思ひやり）」の精神は、これからの激動の社会を生きる人々の道しるべとなるものです。

そこで、栄一翁の精神や考え方にも注目が集まるこの新一万円札の発行を機に、立志と忠恕の精神を深谷市だけでなく、栄一翁ゆかりの地域等に広げるとともに、多くの方々の生き方の糧としていけるよう、自らの思いを作文に綴る「栄一翁みらい宣言」を募集しましたところ、たくさんのご応募をいただきました。その中から厳正に審査を重ねて優秀作品を選定し、本冊子を作成しました。

作品を読まれるすべての方に、夢をもち、こころざし高く生きることの尊さや、他者を思い、まごころと思ひやりをもつて生きていくことの温かさが伝わり、幸福に満ちた社会に一步近づいていくことを切に願っております。

目次

《最優秀賞》

【小学生 立志の部】

ぼくなんの思ひやり

【小学生 忠恕の部】

言葉の力

【中学生 立志の部】

夢を追いかけること

【中学生 忠恕の部】

先生 ありがとう

【高校生 立志の部】

なりたいたい自分へ

【高校生 忠恕の部】

当たり前に感謝

【一般 立志の部】

夢と希望を持つ

【一般 忠恕の部】

豊かな心をありがとう

《優秀賞》

【小学生 立志の部】

あきらめない

自衛官への道

明戸小三年 小林 羽惺 1

岡部西小二年 金井 奏磨 1

上柴中二年 萩原ゆず希 2

川本中三年 石田 真結 2

黒田 倖世 3

本多 蒼汰 3

大沢つる子 4

高野 寛美 4

藤沢小五年 武井 悠 5

深谷西小五年 丸茂史太郎 5

【小学生 忠恕の部】

やさしいじょうきゆうせい

思いやり

【中学生 立志の部】

私の将来の夢

私の将来の夢

【中学生 忠恕の部】

まごころをこめて行かう清掃

いつもは言えない気持ち

【高校生 立志の部】

将来の夢

私の夢について

【高校生 忠恕の部】

家族との時間の大切さ

ありがとう

【一般 立志の部】

キャリアア人生

やると決めたら・どこまでも

【一般 忠恕の部】

未来へつなごう「思いやり」の心

父と母へ 幸せな娘より

幡羅小一年 柴野 直志 6

花園小三年 高野志万子 6

南中二年竹ノ谷咲花子 7

上柴中二年 津嶋 優花 7

岡部中一年 杉田 仁香 8

花園中二年 平野 結月 8

福島こころ 9

瀬出井瑛暁 9

町田 美波 10

橋本 朱音 10

佐藤 愛里 11

小林 直子 11

山田 敬一 12

風間 麗子 12

《審査委員特別賞》

【小学生 忠恕の部】

努力から学んだ感じの気持ち

北海道清水町立清水小四年 石井えり紗 13

《その他の入選作品》

【小学生 立志の部】

栄一翁と「夢七訓」

将来の夢

わたしのしょうらいのゆめ

わたしのしょうらいのゆめ

栄一翁から学んだこと

大好きな野球のために

しょうらいのゆめ

【小学生 忠恕の部】

小さな助け合い

ありがたのバトン

ひいおばあちゃんにとどけーわたしのメッセージ

栄一翁ありがとう

思いやりの心をもつて

おかあさんとあかちゃん

【中学生 立志の部】

私の夢

私の夢

私の夢

桜ヶ丘小六年 茂木希乃花 14

藤沢小六年 神田 芽紅 14

常盤小一年 関口 結子 15

常盤小四年 根岸くるみ 15

豊里小六年 蓮沼 杏弥 16

榛沢小三年 福本 宜真 16

本郷小四年 遠藤 尊 17

明戸小六年 大澤 隼吏 18

深谷西小一年 三石 彩結 18

常盤小二年 岡本 結奈 19

八基小五年 中島 陽菜 19

上柴西小六年 柳 恵里 20

川本南小一年 田中 周 20

幡羅中二年 茂呂 美里 21

幡羅中三年 上原さえみ 21

予測不能な未来

これからの未来

将来の夢に向かって

夢のための目標

夢を叶えるために

【中学生 忠恕の部】

伝えたいことをあいさつで

あいさつ	明戸中二年	森 朱理	25
ありがたう！	明戸中三年	木村 果苗	25
忠恕の心	幡羅中二年	砂田 瑚夏	26
感謝が伝わる音楽を！	深谷中三年	石田 空輝	26
人との関わり	渡邊 理子	渡邊 理子	27
両親への思い	南中三年	岩谷 流星	27
【高校生 立志の部】	岡部中一年	武井 美桜	28
私の夢	東京成徳大学深谷高一年	新藤 葉菜	29
人生の道しるべ	東京成徳大学深谷高一年	正田 里桜	29
将来の夢	東京成徳大学深谷高二年	佐々木 亮	30
夢への扉	東京成徳大学深谷高二年	矢島 凜平	30
将来の夢	東京成徳大学深谷高三年	畠山 莉子	31
私の夢・目標	東京成徳大学深谷高三年	稲積 俊音	31
【高校生 忠恕の部】	東京成徳大学深谷高一年	岡村 延敏	32
忠恕の重要性	東京成徳大学深谷高一年	龍田 総司	32
家族への感謝	東京成徳大学深谷高一年	石井瑚々奈	33
感謝	東京成徳大学深谷高一年	小暮 優生	33
たくさんさんの感謝	東京成徳大学深谷高一年		

深谷の子として 東京成徳大学深谷高二年 北原 花音 34
たくさんありがとう

笑顔と感謝 東京成徳大学深谷高三年 市川 朱紗 34
東京成徳大学深谷高三年 大井田夢果 35

【一般 立志の部】

豊かな未来のために。
人に優しい街・深谷市を目指して！
老後の夢は小説家になることです。
私の出来ること
立志の心を心として

【一般 忠恕の部】

皆で支えたい地域の子
忠恕こそが世界を救う
忠恕の心を心として
洪沢家、尾高家との思い出と忠恕の心
新紙幣とシルクハット

鳥羽 恵	36
風間 麗子	36
小林千寿仁	37
山田 敬一	37
高橋 衛	38
大沢つる子	39
奥田 豊	39
高橋 衛	40
鈴木 義子	40
保泉 富男	41

令和六年度

「栄一翁みらい宣言」

《作品応募状況》

■ 小学生の部	六、四七八点
■ 中学生の部	二、八九九点
■ 高校生の部	七、七七点
■ 一般の部	一、八八点
合 計	九、四七二点

《審査規準》

- 立志や忠恕ということに対しての捉え方が、
しっかりしているもの
- 個人の内だけでなく、広く社会へ目を向けて
いるもの

※立志…志を立て、それを成し遂げようと決心す
ること

忠恕…誠実さや他人への思いやり

【第一集】

「立志」と「忠恕」の思いを
今、あらためてことばに

《最優秀賞 小学生 立志の部》

ぼくなりの思いやり

明戸小学校 三年 小林 こばやし 羽慊 はる

ぼくは、思いやりのある人になりたいです。なぜなら、思いやりをもってせつしてくれる人のそばにしていると心がポカポカになるからです。ぼくが、いじめて悪いことをしてしまった時、お父さんは、どんなにいそがしそうな時でも、しかるだけでなく、ぼくの話をよく聞いてくれます。なぜそうなのか、今どんな気持ちなのかいっしょに考えたり、聞いてくれたりしてぼくの気持ちをしめてくれます。だから、話をするといつもさいごには心があたたかくなって、あん心します。ぼくも人をポカポカにできる存在になりたいです。

《最優秀賞 小学生 忠恕の部》

言葉の力

岡部西小学校 二年 金井 かない 奏磨 そうま

ぼくは、かぞくやお友だちといっしょにいる時「言葉」に気をつけています。

ぼくが何となく言った言葉が、ぼくの大切なだれかをきずつけてしまうこともあるからです。そして、言葉はめぐりめぐって自分にかえってくると聞きました。ぼくの言った言葉がだれかをえがおにして、そのえがおがどんなひろがって、ぼくもいい気持ちになれたらいいなと思います。

だから、ぼくはぼくが言われたらうれしいなと思う言葉をえらんでいます。ぼくの大切な人たちが、えがおとやさしい気持ちでいっぱいになりますように。

《最優秀賞 中学生 立志の部》

夢を追いかけること

上柴中学校 二年 荻原 おぎわら ゆず希 き

私は今、なりたいと思う夢がある。それは、空港のグラウンドスタッフだ。人生初の飛行機に乗ったあの日から、私は空港での仕事に憧れを抱くようになった。その中でも、ひとときわ輝いて見えたのがグラウンドスタッフ。陸にいなからこれから旅立つ人を支える仕事は、私にとってとてもキラキラした仕事に見えた。その夢を叶えるために、これからたくさん努力が必要だ。勉強したり、知識を身につけ、実際に働いたり。時に挫折することもあると思うが、その度に今までの努力が支えになる。努力を怠らず本気で向き合えば、いつか夢が叶うかもしれない。

《最優秀賞 中学生 忠恕の部》

先生 ありがとう

川本中学校 三年 石田 いしだ 真結 まゆ

「思いは叶う」この言葉を胸に私は3年間部活をがんばってきました。この言葉は部活の顧問の先生の言葉です。陸上部に入部し、日々厳しい練習を仲間とこなし、大会で出た結果に一喜一憂してきました。そんな時いつもこの言葉が私の力になっていました。

自信の無い私を指導し、進む高校に悩んでいた私に道しるべを示してくださった先生。本当にありがとうございます。目標ができ、それに向かって進む道が見えてきました。まだ何にも恩返しができいませんが、「思いは叶う」の光を信じ、受験勉強をがんばります。

《最優秀賞 高校生 立志の部》

なりたい自分へ

東京成徳大学深谷高校 二年 黒田くろだ 倖世こうせい

私は渋谷栄一の生き方から主に二つのことを学びました。一つは現状を客観的に見る力、二つは失敗を恐れず挑戦する精神です。

私は勉強やスポーツなど一つのこと集中すると、周りを見失ってしまい、もっと大事なことをおろそかにしてしまいます。しかし栄一は、当時の日本に足りないものを正確に見極め必要なものを実際に会社を建てるなどして行動することで、人々の助けになっていました。私もこの生き方を見習い、現状を正確に把握できる人、そして失敗を恐れず自信をもって行動できる人になれるように今後の人生を歩みたい。

《最優秀賞 高校生 忠恕の部》

当たり前に感謝

東京成徳大学深谷高校 二年 本多ほんだ 蒼汰そうた

現在高校二年生の私の周りには、当たり前のように当たり前ではないことがたくさんある。例えば、お腹いっぱいご飯が食べられること、学べること、好きなことに没頭できること、平和であることなど。全て挙げたらキリが無い程の当たり前私たちは支えられている。

しかし、この当たり前が存在しない人や、突然奪われてしまう人がいる。今、自分が生きていて、自由に好きなことに没頭できる、こんなに幸せなこととは無いと思う。なので、この幸せの輪をどこまでも広げていけるように全てのことに感謝し、他が為にと生きていきたい。

《最優秀賞 一般 立志の部》

夢と希望を持つ

大沢 おおさわ つる子

高齢化社会、人生100年時代に突入したと言われます。そんな私も、後期高齢者として、その輪の中で生きてます。が、人は幾つになっても、その年齢に応じて「夢と目標」を掲げ、希望持ち、何事も諦めないこと、それが大事と思います。ひとり々が、こんな気持、抱いて前に進めば、明るい社会、未来があるでしょう。こんな社会を作るのも、私たち高齢者に課せられたテーマかも知れません。偉人 渋沢栄一翁が 唱えた立志（夢とこころざし）を、私は、これからの自分が生きる術の指針に、健康寿命と言うレールの上をゆっくり歩む人生を。

《最優秀賞 一般 忠恕の部》

豊かな心をありがとう

高野 こうの 寛美 ひろみ

私は夫の仕事の関係で、結婚後、23年程、神奈川で暮らした。その間、深谷で暮らす嫁ぎ先の父と母は、いつも自分達で育てたお米や季節のお野菜を、時には体調を崩した私に薬を送ってくれた。また、幼少の頃から育ててくれた父と母は3人の子ども達をとっても愛情深く育ててくれて、時間を作っては家族旅行だったりとみんなの時間を大切にしてくれた。夜遅くまで内職をしてくれた母、整体を営む父は、よく腹痛を起こす私を治療してくれた。どんな時も変わらない両家の父母達の温かい気持ちに支えられて、私の今がある。いつも支えて下さり、ありがとう。

《優秀賞 小学生 立志の部》

あきらめない

藤沢小学校 五年 武井 たけい 悠 ひさし

ぼくがいつも大切に行っていることは、「あきらめない」ことです。

ぼくは、野球をやっています。その日はとてもつらくてやめてしまおうかと思いました。

でも、ぼくの夢はプロ野球選手になることです。この前、ブルーナドームに行きました。プロの選手は体も大きくてパワーがみなぎっているように感じました。ふだん、つらい練習を乗りこえているから、あのように強くなれるのだと思います。だから、ぼくもつらいことや大変なことがあっても、あきらめずに続けていきたいです。

《優秀賞 小学生 立志の部》

自衛官への道

深谷西小学校 五年 丸茂 まるも 史太郎 ふみたろう

ぼくは、自衛官になるゆめをもちました。なぜかというと、二〇二四年に能登半島地震が起こって、テレビで「自衛隊がきゅうじょ活動をしています」と言っていて、「今もいのちがけでがんばっているのだな。こんな、人を助ける仕事につきたいな」と思ったからです。まだまだ長い道のりだけど、がんばりたいと思いました。

自衛官と渋沢栄一翁は共通点があります。一つ目は、自分だけでなく、周りの人のこともよく考えるところです。二つ目は、自分にも人にも良いことをしたところです。

いろいろな知識を学び、ぼくはいどみます。自衛官への道を。

《優秀賞 小学生 忠恕の部》

やさしいじょうきゅうせい

幡羅小学校 一年 柴野 直志

ぼくはしょうがつこうにゆうがくしたあと、ふあんできょうしつにいけないひがありました。あさこうもんのところでこまっていると、じょうきゅうせいがこえをかけてくれていっしょにつれていってくれました。そのじょうきゅうせいは、ぼくがこまっているといつもたすけてくれます。おかげでいまはちゃんとがつこうにいけるようになりました。こんどはぼくが、こまっているひとがいたときたすけてあげたいです。しぶさわいいちおうのようにまごころとおもいやりのきもちをもって、まわりのひとをたいせつにしていきたいとおもいます。

《優秀賞 小学生 忠恕の部》

思いやり

花園小学校 三年 高野 志万子

わたしは、この間、お父さんがけん血をするので、いっしょにけん血センターにつれて行ってもらった。わたしは、小さいころ、心ぞうの手じゅつをしてゆ血と言って、だれかの血えきをわけてもらった。お父さんも今度は自分がとけん血をしている。

だれかの思いやりでわたしは、こうして元気に生きている。そしてお父さんの思いやりも、だれかを元気にしている。すごいことだと思った。わたしも、わたしを元気にしてくれた人や、お父さんの思いを引きついで、人を思いやる気持ちを大切にして生きていきたい。

《優秀賞 中学生 立志の部》

私の将来の夢

南中学校 二年 竹ノ谷 咲花子

私には、JICAの医者になるという夢があります。

その夢を志した理由の一つ目は、姉が医者だからです。ネパールで医者として働いている姉のように素敵な女性になりたいと思いました。

二つ目は、昨年東京のJICA地球広場に行き、様々な経験をさせていだいたからです。その中で実際に海外で活動していた方の話を聞いたことが印象に残りました。話を聞きながら胸が高なっているのがわかりました。

今の私にできることは少ないですが、自分にできることを全力で取り組んでいきたいです。

《優秀賞 中学生 立志の部》

私の将来の夢

上柴中学校 二年 津嶋 優花

私は将来、和裁士という職業に就きたいなと思います。なぜなら、小さい時に裁縫が得意なおばちゃんと人形の着物を作った時にとっても楽しかったからです。しかし、和裁士について調べてみると、資格が必要だったり、専門学校に入ったりと色々大変であることを知りました。このことを知り、少し諦めようとも思いましたが、和裁士が年々減少していることも知ったため、もし和裁士という職業がなくなってしまうたら、和服がなくなってしまうかもしれないと思い、また目指すようになりしました。和裁士になるためにも目の前のことから成しとげたいです。

《優秀賞 中学生 忠恕の部》

まごころを込めて行う清掃

岡部中学校 一年 杉田^{すぎた} 仁香^{にか}

私がまごころをこめて取り組んで
いることは、清掃です。

理由は、学校でも家でもまごころを
こめて行う清掃は、学校や家の清掃し
た場所だけでなく自分の心もキレイに
磨かれ、気持ちがいからです。道徳
の時間に担任の先生が掃除を清掃とい
うワードにかえ、清掃の時間は、自分
と向き合う時間だと言っていました。
それまでは、普通に行っていた掃除も
自分と向き合いながら清掃を行ってい
たら、終わった後に、普通に取り組ん
でいた時まで、感じる事ができな
かった気持ちを実感できました。これ
からもまごころをこめて清掃します。

《優秀賞 中学生 忠恕の部》

いつもは言えない気持ち

花園中学校 二年 平野^{ひらの} 結月^{ゆづき}

中学生になって、素直に感謝を伝え
ることがはずかしくなった。小学生の
ときは、もっと身近なことでも感謝の
言葉を述べられていたのに、中学生に
なってそれができなくなった。特に家
族に対してだ。いつもがんばっている
ことは分かっているのに、はずかしく
て言えない。きっと伝えれば、よろこ
んでくれるはずなのに、言えない。ど
うしてはるかしく思うのか。それは今
は分からない。分からないけれど、こ
の紙になら書ける気がする。お母さん、
お父さん、いつもありがとう。いつか
目の前で言えたらいいな。

《優秀賞 高校生 立志の部》

将来の夢

東京成徳大学深谷高校 三年 福島 ふくしま こころ

私の将来の夢は、一人でも多くの赤字企業を救える税理士になることです。私が税理士を目指そうと思ったきっかけは、私の両親が経営していた会社が新型コロナウイルスの影響により倒産寸前の時、税理士の方が経営の立て直し、回復に導いてくれたからです。その時、私は改めて、お金の大切さに気がつきました。またそれと同時に、私も経営危機の企業を少しでも救いたいと思いました。

もし、私が税理士なることができたら、一人でも多くの人の生活を豊かにする手助けをし、社会に貢献していきたいです。

《優秀賞 高校生 立志の部》

私の夢について

東京成徳大学深谷高校 三年 瀬出井 せでい 瑛咲 あきさき

私は将来都市計画に携わるのが夢です。美しいデザインと機能性、自然との調和を兼ね備えた都市を設計することで、住む人々に快適さと喜びを提供することが目標です。そのような職業に携わるためには、学問や実地経験をはじめとした様々な経験や努力を積む必要がありますが、その過程で得られる知識やスキルを自己成長の機会として大事にすることを心がけたいと思っています。私にとってこの夢は自分の理想像を追求すると同時に、社会に貢献するための大きな挑戦です。今はその夢を実現するための第一歩として、日々勉強に取り組んでいます。

《優秀賞 高校生 忠恕の部》

家族との時間の大切さ

東京成徳大学深谷高校 一年 町田^{まちだ} 美波^{みなみ}

「もつと一緒にいた時間を大切に」

私はそう後悔をしています。私は三月に父親を亡くしました。亡くなる前までは特に変なこともなく、ただ父親と過ごしていたあの時が今となってとても大切だと気づきました。

なのでこれからは、自分のことをいつも支えてくれる家族に今まで伝えられていない感謝の気持ちを伝えるようにしていきたいです。時には、家族に対して反抗的な態度をとってしまうことや喧嘩をしてしまうこともあるけど、それでも家族を思う気持ちや一緒にいられる時間をこれからもっと大切にしていきます。

《優秀賞 高校生 忠恕の部》

ありがとう

東京成徳大学深谷高校 二年 橋本^{はしもと} 朱音^{あかね}

私は人がとても好きです。そのため、良く挨拶をし、明るく元気に生活をするようにしています。自分一人では生きていくことさえ難しい世の中で、家族、先生、地域の方、友人など自分の周りには様々な人が関わっています。その人たちのおかげとも言っています。ど、今の私は支えられて生きています。そんな方々には日々感謝しなければいけないと思いますし、大切に接していくことが重要です。共に生きていく仲間として、自分自身もまごころと思いやりの精神を大切にし、毎日人に感謝される人になれるよう努力していきたいと思っています。

《優秀賞 一般 立志の部》

キャリアⅡ人生

佐藤 愛里
さとう あいり

「キャリアとは自分の人生である。」と大学時代、恩師が言った。その時は深く考えなかったが、就職し結婚、子育て中の今、この言葉を身に染みて感じている。

卒業後は大学で学んだことを生かし、今に至るまで働いてる。その傍ら、食物アレルギー持ちの次女のために日々、食材限定レシピを考案している。また、子供たちの寝ている間に勉強し、独学で二つの国家資格を取得した。

「キャリアⅡ人生」と考えた時、誰でも日々を大切に生きることがその人のキャリアである。私のキャリアが誰かの役に立てたら何よりの幸せである。

《優秀賞 一般 立志の部》

やると決めたら・どこまでも

小林 直子
こばやし なおこ

「青天を衝け」のドラマを契機に、栄一翁が生涯を通して大事にしたという論語を学びたいと思い、素読を始めた。七十歳を前にして茶道を習い始めた私は、※論語「子曰わく、力足らざる者は中道にして廃す。今女は晝れり」という一章を素読した時、衝撃を受けた。茶道は、ただお茶のお手前を覚えるだけではない。お茶は中国から伝わり、それを時代とともに日本独自の文化として育て上げたものである。その歴史を考えるとお茶の文化は奥が深い。

私は、衝撃を受けた論語を大事にし、美味しいお茶を差し上げる基本精神を胸に生涯茶道を志していきたい。

※雅也第六―十二「途中で投げ出してはいけない」の意

《優秀賞 一般 忠恕の部》

未来へつなごう「思いやり」の心

山田^{やまだ} 敬一^{けいいち}

世はデジタル化の時代へ移行しつつある。タブレット、スマホそしてAIと技術の進歩は著しい。しかし、そんな装置を制作しているのは人であり、人が「人」である以上、未来へ持ち続けなければならぬものがある。

その一つは渋沢栄一翁が唱えた忠恕の心だ。便利な装置に頼りすぎると会話や人を思う気持ちに欠けてくる。相手のことを思う、そんな「思いやり」の心を装置は持てず、それは人でしか持てない。便利な世ほど「思いやり」の心を忘れてはならないと思う。

《優秀賞 一般 忠恕の部》

父と母へ 幸せな娘より

風間^{かざま} 麗子^{れいこ}

私は、実家にて父と母と三人で暮らしている。平日は、仕事のため家には殆どいない。本来なら、私は毎日父と母の手伝いをするべきなのに、いつも私は、父と母から支えられて守られている。毎日が、慌ただしく過ぎていき、私は父と母と同じ家に住んでいるのに顔も合わせない日も多々ある。だから、この場を借りて私から父と母へ感謝の気持ちを伝えたい。「父と母へ。こんなに大きくなった私と、いつまでも一緒に暮らしてくれて有難う。私は、父と母の娘に生まれて幸せ。これからは、私が父と母を支えて幸せにする。父と母と私の生活を大切にしたい。」

《審査委員特別賞》

努力から学んだ感じやの気持ち

清水町立清水小学校 四年 石井 いしい えり紗 き

私は、五月にそろばん一級を合格しました。とてもうれしかったですが、合格するまでは、本当に大変でした。そろばんの先生は、非常にきびしいので、私は、そろばんをやめたいと思ったり泣いたりした事が何度もあります。でも、先生のおかげで、一級を合格する事ができました。先生は、きびしいですが思いやりもあるから、私に一生けん命指どうしてくれたのだと思います。

私は、そろばん一級を合格した事で計算が得意になっただけでなく、先生をはじめ色々な人に感しゃするということを持ちをもてるようになりました。



《小学生 立志の部》

栄一翁と「夢七訓」

桜ヶ丘小学校 六年 茂木 希乃花^{もてぎ ののか}

私の夢は、図書館司書になることです。祖母、母ともに図書館司書で、小さなころから図書館になれ親しみ、その空間が大好きだからです。

深谷市の偉人、渋沢栄一翁も「夢」を大切にしています。とくに、毎年暗唱をする「夢七訓」には、栄一翁の考えがたくさんつまっていると思います。私は、毎年「夢七訓」にふれているうちに、いつの時代でも、どんな人でも、夢への思いが必ずあるのではないかと思いました。

私は、栄一翁の人生を参考にしながら、夢に向かって、今自分が何をすべきなのかを考え、実行していきたいです。

将来の夢

藤沢小学校 六年 神田 芽紅^{かんだ めぐ}

私の将来の夢は、司書です。

理由は、本が好きだし、本にかかわる仕事がしたいなと思ったからです。

そのために私は、もっとたくさんの本を知り、本をたくさん読んでこの仕事についた時に役立てられればいいなと思っています。

渋沢栄一翁の夢七訓の初めと終わりに「夢なきものは理想なし」「ゆえに幸福を求めるものは夢なかるべからず」という言葉があります。これらの言葉は「幸せ」な人生は「夢」をもつところから始まるという思いが込められていると思うので、夢を大切に生きていきたいなと思います。

わたしのしょうらいのゆめ

常盤小学校 一年 関口 結子^{せきぐち ゆうこ}

わたしのゆめは、ワクチンをつくる
かがくしゃになることです。かんせん
しょうのほんをよんだときに、ワクチ
ンがまだないかんせんしょうがあるこ
とをしったからです。

しぶさわえいいちおうは、ちいさい
ときに、たくさんほんをよんだり、いえ
のおてつだいをしたりしていました。お
おきくなつてから、みんなのしあわせ
をかんがえながらたくさんのかいしゃ
をつくつてすごいなとおもいました。

わたしも、えいいちおうのように、
ほんをたくさんよみます。りかのべん
きょうもがんばります。みんなをしあ
わせにできるかがくしゃになります。

わたしのしょうらいのゆめ

常盤小学校 四年 根岸 くるみ^{ねぎし}

わたしのしょうらいのゆめは、パ
ティシエです。わたしがスイーツを
作つて、みんなを笑顔にさせてあげた
いからです。わたしは、栄一翁の母が
言っていた、「みんながうれしいのが
いちばんなんだ」という言葉を知つ
て、みんなを笑顔にできればうれしく
なると思いました。みんなにうれしく
なつてもらうために、パティシエにな
りたいゆめをあきらめないようにした
いです。その仕事になれなくても、人
を笑顔にできる仕事をして、みんなを
うれしくさせてあげたいです。

栄一翁から学んだこと

豊里小学校 六年 蓮沼 はすぬま 杏弥 あんみ

私の夢は、氣象予報士になることです。私は、たまに「夢を実現できるかな。」と思うことがあります。だけど、栄一翁の言葉や栄一翁の活躍を知って自信ができました。栄一翁が会社を500も作ったことや、たくさんの業績を残したところから、あきらめないことの大切さを学びました。そして、栄一翁の「物事は順序を踏み、焦ってはならない。」という言葉から、焦らずに落ち着いて進めば未来が見えるのだから、少しずつ進んでいけばよいことを学びました。私も栄一翁のように、どのようなことにも前向きに取り組んでいきたいです。

大好きな野球のために

榛沢小学校 三年 福本 ふくもと 宜真 ぎしん

ぼくには夢があります。それは、野球せん手になることです。そのために、野球が強い高校に入って、こう子園に出たいと思っています。とても大きな夢だけど、毎日コツコツと練習をして、少しでも夢に近づけるようにど力します。

しぶさわえい 一さんの言葉に「長しよを發きするように努力すれば、短しよは自ぜんに消めつする」というものがあります。

ぼくは、この言葉のように長しよである野球の知しきを生かして、小さな体でも野球が上手になるようにがんばりつづけます。

しょう来の夢

本郷小学校 四年 遠藤 尊^{えんどう たける}

ぼくのしょう来のゆめは、農業をすることです。

ぼくが生まれる前ですが、お父さんは働いていた会社をやめて、おじいちゃんと一緒に農業を始めました。ぼくも小さい時は、よくおじいちゃんの後を追いかけて畑についていききました。畑仕事は、夏は暑くて冬は寒くて大変な仕事ですが、みんなに美味しい野菜を食べてもらえるのは、とてもうれしいです。

ぼくは一人っ子なので、お父さんの後をついでおいしい野菜をたくさん作ってみんなに食べてもらいたいです。



《小学生 忠恕の部》

小さな助け合い

明戸小学校 六年 大澤 おおさわ 隼吏 しゅんり

僕は、先日父と一緒に買いものに行きました。その時スーパーには、募金箱がありました。父は、その募金箱に小銭を入れました。僕は父を不思議に思い、

「なんでお金を入れたの？」

と、聞きました。父は、

「たった数円でも、困っている人の助けになるからだよ。」

と言いました。父のこの言葉で、助け合うことの大切さ、そして遠くからでも人を助けることができることと分かりました。

これから僕は、小さい事でも助け合いの心を忘れずに生きていこうと思います。

ありがとうのバトン

深谷西小学校 一年 三石 みついし 彩結 さいゆ

わたしはいつも、こまっているひとを見かけたら「どうしたの？」とこえをかけるようにしています。なぜなら、じぶんもこまっているときにたすけてもらおうとうれしいきもちになるからです。そして、たすけてもらったひとは、かならず『ありがとう』ということばをくれます。それはまほうのことばで、わたしは「また、こまっているひとがいたらちからになりたいな。」というきもちになります。わたしも『ありがとう』をたくさんいえるひとになりたいし、いつてもらえるひとになれるように、これからもがんばっていききたいです。

ひいおばあちゃんにとどけ！

わたしのメッセージ

常盤小学校 二年 岡木 おかき 結奈 ゆな

わたしには、九十二才のひいおばあちゃんがあります。ひいおばあちゃんはいじめけんにすんでいます。元気だったのですが、今年の六月に体ちょうがわるくなって、今はねたきりです。

わたしにできることはないかなと考えました。そして毎朝、どうがでメッセージをつたえることにしました。メッセージでは、今日楽しみなことやごはんをもりもりたべてほしいという気もちをつたえています。

わたしたち兄弟のどうがを見て、ひいおばあちゃんをよくわらうようになってくれました。ひいおばあちゃん、早く元気になってね。

栄一翁ありがとう

八基小学校 五年 中島 なかじま 陽菜 はるな

わたしは毎日大切に思っている言葉があります。それは、「栄一、自分がよければいいなんてことはありませんよ。」です。これは栄一翁の母が直接、栄一翁に伝えた言葉です。私のお母さんも、「勉強だつて大切だけど、お母さんは栄一翁のような思いやりが人生で一番大切だと思うよ。」と言ってくれました。このできごとがあつてから、本当に大切なのは何かが分かったような気がしました。私は、高学年になつたので低学年の友達にやさしく声をかけ、教えてあげたり、仲よく一緒に遊んだり、仲を深めていきたいです。

思いやりの心をもつて

上柴西小学校 六年 柳 やなぎ 恵 えり

「思いやりってなんだろう？」と考えるとき、私は渋沢栄一翁の母の言葉「あんたがうれしいだけじゃなくて、みんながうれしいのが一番なんだで」を思い出します。

母の教えが土台となり、栄一翁は、みんなが幸せになるためにはどうしたらよいのかを常に考えていたそうです。現在、私が思いやりの心をもつて生活できているかは分かりませんが、意識することによって様々なことが変わってくると思います。自分に何ができるのかはまだ分かりませんが、悩んだときは、栄一翁と栄一翁の母の言葉を思い出し、思いやりの心をもちたいです。

おかあさんとあかちゃん

川本南小学校 一年 田 たなか 中 周 あまね

おかあさんのおなかに、あかちゃんやうてきました。わたしは、あかちゃんにあえるのがたのしみで、まいにちおかあさんのおなかにおはなしをしていました。そしてついにこのまえ、あかちゃんがうまれました。とってもちいさくて、とってもかわいくて、わたしは、とってもうれしかったです。こんなにかわいいあかちゃんをうんでくれたおかあさんと、げんきにうまれてくれたあかちゃんに、ありがとうのきもちでいっぱいです。これからたくさんあかちゃんといっしょにあそんだり、お世話をしてあげたいです。おおきくなるのがたのしみです。おしまい。

《中学生 立志の部》

私の夢

幡羅中学校 二年 茂呂 美里

私には韓国語の翻訳家になるという夢があります。小さい頃から韓国のテレビを見ていて韓国が好きになり、韓国の有名人がテレビに映ると隣ですぐに翻訳する翻訳家の方がカッコよく、「私もやってみたい」と思うようになりました。

最近、翻訳の仕事が人工知能で果たされ、将来無くなってしまうと言われていきます。そんな中、人間が他国との架け橋となつて働くことはとても素敵なことだと思います。

私はこれからも夢を追い、叶えられるように日々努力します。

私の夢

幡羅中学校 三年 上原 さえみ

私の将来の夢は、人の力になる仕事に就くことです。この夢を与えてくれたのは私の母です。私の母は介護士をしていて、よく仕事のやりがい話してくれます。それは人のために行動することは実際には自分のためになつていくということです。母はどんなに大変なことでも笑顔で文句何一つ言わずにこなしてしまう人です。私も将来母のような人になるために、環境を言い訳にせずに、おかれた場所で咲けるようにしたいです。だからこそ、周りをよく見て人の力になれるように行動していきたいです。

予測不能な未来

深谷中学校 三年

白鳥 しらとり

成旺 なわ

私の夢は、動物カメラマンです。自然を生きる生き物たちの、生命力あふれる姿を世界中の人に伝えたいのです。そのためには、英語やコミュニケーションによって現地の人とつながりを持つことが大切です。しかし、私が職を持つ年となる頃には、英語を話せなくても良くなっていたり、写真を撮りに行かずに、画像を産み出せたりできるかもしれません。

これからの予測のできない未来のために夢への最低限ではなく夢も目指せる最高点を目指して、上へ上へ行けるように努力を続けます。

これからの未来

深谷中学校 三年

岩崎 いわさき

夢歩 ゆめあ

私の将来の夢は、薬剤師になりたい皆さんの人を笑顔にすることです。栄一翁とは、目指す夢は全く違うけれど、人々の暮らしを豊かに過ごしやすい国を作りたいという気持ちは同じだと思っています。栄一翁は若い頃から勉学にはげみ、自分の叶えたい夢を実現させました。私も将来やりたいことが明確に決まっている今、2月には受検があります。今のままでは自分の叶えたい夢が実現することはかなり難しいと考えられています。しかし、未来のために今、自分ができる最大限の努力をし、栄一翁のような立派な大人になっていきます。

将来の夢に向かつて

藤沢中学校 二年 田村 花音

私の将来の夢は、「人を笑顔にする仕事」です。理由は、人が笑顔になると自分も笑顔になるし、自分も相手も良い気分になるからです。

私の祖父は「人を救い笑顔にする仕事」をしています。祖父は自分のことで精一杯のはずなのに、相手のことを最優先にしています。祖父は笑顔になりました。私は自分のことで精一杯なので、自分の気づかぬうちに相手を傷つけてしまっています。私には相手を思いやる気持ちが必要だと思ひます。ですが、私も祖父の事を見習って、「自分も相手も笑顔になる」ことを心がけながら生活していきたいです。

夢のための目標

上柴中学校 二年 久保田 朱音

「大なる立志と小ない立志と矛盾するようなことがあつてはならぬ。」

これは栄一翁の言葉である。大きな目標とその目標を成し遂げるための小さな目標は繋がっていないといけないという意味だ。

私は将来、英語の教師になりたい。理由は、先生のおかげで私も英語を好きになれたからだ。「私も教師になりたい」と多くの人に英語を好きになってもらいたい。この大きな目標を達成するために今から達成できる目標もある。いつか教師になるためにも、今の自分にできることを精一杯がんばり、今の自分の努力を役立てていきたい。

夢を叶えるために

花園中学校 二年 細田^{ほそだ} 礼央^{れお}

私には宇宙飛行士になりたいという
立志の心があります。

私は宇宙の未知なる世界に興味をもち、科学の勉強や知識を積み重ねて、宇宙への挑戦に備えていきます。何事にも、夢を叶えるためには、栄一翁のように努力することと、その努力が報われるまで忍耐が必要です。私はこの夢を叶えるために、当たり前のことをバカにせず、ちゃんとやり、すべてのことにたいして全力で取り組んでいきます。

これからも立志の心を忘れず、栄一翁のように勉学に励み、夢が叶うよう努力し続けます。



《中学生 忠恕の部》

伝えたいことをあいさつで

明戸中学校 二年 森 もり 朱理 あかり

中学生になったばかりの頃、家の近所の老人ホームのおばあさんが毎朝ベンチにすわってあいさつをしてくださいました。「おはようございます。」今日は暑いですね。「氣をつけてね。」と声をかけてもらうたび、今日もがんばろうと明るい気持ちになって学校へ行っていました。毎朝元氣をくれたおばあさんに「ありがとうございますました。」と伝えたいです。朝の少ないやりとりにもいつも元氣をもらっていたと伝えたいです。

最近は登校時間が変わり、会えなくなつたのですが、次もし会えたら、「いつもありがとうございます。」と私のできる最大の元氣で伝えたいです。

あいさつ

明戸中学校 三年 木村 きむら 果苗 かなえ

私は中学一年生の頃まで、あいさつをためらって、小さい声になつてしまつたり、言えなかつたりということがよくありました。しかし今では胸を張ってあいさつをすることが出来ます。理由は、朝会で校長先生があいさつは相手を認めることで、悪いことではないと教えてくれたからです。それを感じかけに私は思いきつてあいさつをしました。そしたら、笑顔であいさつを返してくれたことがうれしくて、今では元氣な声で笑顔であいさつをしています。私は、これからも元氣なあいさつをたくさんして、たくさんの人を笑顔にしていきます。

ありがとう！

明戸中学校 三年 砂田^{すなだ} 瑚夏^{こなつ}

私はとある友達に、とても感謝しています。私は友達が集まって話していきなり、楽しそうに話したりしていても、足が出ず一歩身を引いてしまします。行きたいな、と思っても我慢してしまうんです。でもAさんは、そんな私のことを気にかけて、手を引いてくれます。「行きづらい」と口にしても、「いいんだよー」といつも声をかけてくれます。そんなAさんの、私の心を言わずともわかってくれるところ、思いやつてくれるところが大好きです。Aさんに感謝して、私も思いやりの気持ちを持って、接したいです！

忠恕の心

幡羅中学校 二年 石田^{いしだ} 空輝^{そら}

僕には、感謝してもしきれない人がいます。その人は、僕が悩んでいるときや辛いことがあったときに親身に相談に乗ってくれて、解決策をアドバイスしてくれたり、正しいことと悪いことをはっきりと伝えてくれる、とても子供思いの人です。僕は生まれてくる前に父親が亡くなり、今まで生きてきた十三年間女手一つでその人は僕を育ててくれました。これから毎日あなたに感謝しながら生きていきます。いつも本当にありがとう、母さん。

感謝が伝わる音楽を！

深谷中学校 三年 渡邊 わたなべ 理子 りこ

私は、誰もが心地良くなれるような
思いやりのある行動をし、自分のふる
さと深谷を愛することを宣言します。

学校生活では、誰一人として悲しい
思いをすることがないよう、自分の行
動に責任をもちたいです。また、自分
にとって大切なふるさと深谷を愛する
ために、地域の人や家族に日頃からの
感謝の気持ちを忘れないでいきたいで
す。また、私は吹奏楽部に所属してい
ます。私たちの演奏で少しでも地域の
方々に感謝の気持ちを届けられるよう
にがんばります。

人との関わり

南中学校 三年 岩谷 いわたに 流星 るきあ

私には、毎日まごころをこめて取り
組んでいることがあります。それは、
地域の人にあいさつをすることです。

前までは人にあいさつをすることが
苦手で、人にあいさつをすることがで
きていませんでした。ですが、登校中
や下校中にあいさつをしていくにつれ
て心が軽くなることが分かり、あいさ
つをすると気分が上がって「一日が楽
しみだな」と感じるようになりました。
普段の当り前のような行動がこんな
にも影響を与えてくれることに、改め
て人との交流が大切だと思いました。

両親への思い

岡部中学校 一年

武井^{たけい}

美桜^{みお}

私は、卓球でより強くなりたい、勝ちたいという思いから、小学校6年生から、実家を離れて卓球に集中できる環境に身を置いている。今の練習環境でサポートしてくれる方々には、感謝でいっぱいだ。お陰で、私の力を引き伸ばしてもらっている。何より、私の気持ちを知り、背中を押してくれた両親には、ほんとうに感謝している。小学生から親元を離れて暮らすこと、転校先での学校生活のこと、私のメンタルのこと、たくさんさんの心配があったと思う。でも私の意志を尊重してくれた。一番の応援者である両親のためにも卓球、そして人間として成長する。



《高校生 立志の部》

私の夢

東京成徳大学深谷高校 一年 新藤^{しんどう} 栞菜^{かんな}

私には将来の夢があります。それは診療放射線技師になることです。私が診療放射線技師になりたいと思った理由は二つあります。一つ目は、母が看護師で小さい頃から患者さんをケアする姿を見て、私も誰かの支えにな仕事をしたいと思ったからです。二つ目は、放射線技師の医療ドラマを見て、放射線技師のように影で誰かを支える仕事にあこがれたからです。だから、放射線技師になるために今はしっかりと勉強をし、行きたいと思う大学に進学できるように頑張りたいです。そして、放射線技師になったら、たくさんの人を影で支えていきたいです。

人生の道しるべ

東京成徳大学深谷高校 一年 正田^{しょうだ} 里桜^{りお}

私はまだ夢や目標が決まっていません。渋沢栄一翁の「人のために尽くす」というこころざしは、日本資本主義の父と呼ばれる一つの理由だし、素晴らしい考え方、生き方だと感じたため私も自分への目標の参考にしたいと思いました。他にも、メジャーリーガーの大谷翔平選手の言葉「人生が夢をつくるんじゃない。夢が人生をつくるんだ」という言葉も、今の私へのアドバイスの様に感じ、自分の未来への参考にしたいです。

この先の豊かな人生を実現するため、正しい道しるべを自分で選択し、後悔しないよう判断していきたいです。

将来の夢

東京成徳大学深谷高校 二年 佐々木 亮ささき りょう

私の夢は消防士です。理由は二つあります。

一つ目は、自分が小学生の頃家の近くの家で火災が起きた時、命をかけて消火活動をしている消防士の方を見て自分もそうなりたと思ったからです。

二つ目は、能登半島地震で、消防隊の方々が救助活動をしているニュースを見て、改めて消防士を目指そうと思ったからです。

今までの自分は昔から周りの人に迷惑をかけ助けてもらってきたので、次は自分が地域、周りの人を助けていきたいので自分の今の気持ちを大切に、夢に向かっていきます。

夢への扉

東京成徳大学深谷高校 二年 矢島 凜平やしま りんぺい

私には夢があります。それは「教員になること」です。私がこの夢をもつた理由は、中学三年生の頃にある一人の先生に出会い、「教員」という夢をもち始めました。

ある先生とは中三の時の学年主任の先生でした。その先生は、生徒と明るく接したり相談にのったりしてくれました。他にもH Rの時に進路の話や学校生活の不安など、生徒一人一人にしっかりと向き合ってくれる先生でした。

私はこの先生と出会い、「教員」という夢をもち、今でも夢に向かって頑張っています。そして、中三の学年主任の先生には感謝でいっぱいです。

将来の夢

東京成徳大学深谷高校 三年 畠山 莉子^{はたけやま りこ}

私の将来の夢は、看護師になる事です。理由は、幼少期のとき三度入院を経験したからです。私は細菌性髄膜炎という病気で長い間入院していました。その時の様子を両親に聞くと、その時の私は生きるか死ぬかの瀬戸際だったため、たくさんの医師の方や看護師の方に助けていただいたということを知りました。細菌性髄膜炎は重篤な疾患で、年間約二十五万人の人が亡くなっています。そこで私は看護師となり、自分が助けてもらった恩返しとして一人でも多くの命を救い、疾病に悩む多くの患者様を将来支えてあげられるような看護師になりたいです。

私の夢・目標

東京成徳大学深谷高校 三年 稲積 俊音^{いなづみ しゅんおん}

私は幼い頃から、プロサッカー選手になるという目標をずっともっています。サッカー選手になるという夢が、目標に変わったのは小学生の時でした。私は元日本代表、本田圭佑の言葉に心を打たれました。サッカー選手になりたいと思うのではなく、「サッカー選手になる。」と自分で決めて、逆算して行動することが大切だということ。私はこれからも、プロサッカー選手という目標に向かって努力を続けます。そして、私からサッカーが無くなる時が来ても、新しい夢を見つけて実現のために逆算をし、努力を続けられる人間になっていきます。

《高校生 忠恕の部》

忠恕の重要性

東京成徳大学深谷高校 一年 岡村^{おかむら} 延敏^{みはる}

私は日常で栄一翁の思う忠恕の重要性を感じたときが2つある。

一つは受験期の友人関係である。私自身勉強が好きではないが、友人と塾で一緒に勉強することで、一人では難しかったであろう時間集中することができた。

二つ目に、家族との受験期の関わりである。正直勉強のストレスで家族に強く当たってしまうこともあった。しかし、家族はそんな私を受け入れサポートしてくれた。

以上の経験より私は人との関わりや思いやり、感謝の重要性を感じた。私は今後も周りの人を大切にしていく。

家族への感謝

東京成徳大学深谷高校 一年 龍田^{たうた} 総司^{そうし}

僕は高校生になり親元から離れて生活をする寮生活が始まった。初めての事で不安な気持ちしかない。その上、生活していると親と会えない寂しさもある。中学までは毎日家族と会話ができて、買い物に行ったり、ご飯と一緒に食べるのができたりなど、常に近くで寄りそっていてくれた家族の大切さを改めて実感することができた。寮生活をしていても毎日心配してくれたり、大切な時間を自分に費やしてくれること、毎日を楽しく不自由なく過ごす事ができているのは家族のおかげだと思う。そんな家族への感謝の気持ちを忘れずにこれからを過ごしていきたい。

感謝

東京成徳大学深谷高校 一年 石井^{いし} 瑚々奈^{ここな}

私が生きていく上で大切にしていきたいことは、周りの人にしっかりと感謝の気持ちを伝えることです。そう考える理由は、私が小学生の頃お父さんが亡くなり会えなくなってしまったことです。いままであたり前だと思っていたものがとつぜんなくなり、感謝の気持ちをしっかりと伝えることができず、後悔しています。なので伝えたいことは後まわしにするのではなく、その時に伝えるべきだと学びました。これから生きていく上でいつ何が起こるか分からないので、後悔しないように一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。

たくさんの感謝

東京成徳大学深谷高校 一年 小暮^{こぐれ} 優生^{ゆうせい}

私は十六年間生きた中でたくさんの人にたくさんの感謝をしたいです。

お父さんとお母さんには今まで家事や育事をしてくれてありがとう。友達には毎日学校を楽しませてくれてありがとう。先生には毎日授業をして勉強を教えてくれてありがとう。おじいちゃんおばあちゃんには、たくさんの野さいを作り、行くたびにたくさんの野さいをくれるのでありがとう。という感謝を伝えたいと思いました。

私は日常的に助けてくれている人達に優しく接していきたいです。そしていつかは、恩返しをできたらいいなと思います。

深谷の子として

東京成徳大学深谷高校 二年 北原^{きたはら} 花音^{かのん}

私は、小学校から現在在籍する高校まで深谷の学校に通っていて、小学校の頃からよく、立志・忠恕の心を大切しろと教えられてきました。嫌なことがあったときや友達にいらついてしまったときなどに、忠恕の心を思い出し、周りへの感謝を忘れず、どんなときもまごころと思いやりのある人になろうと考えていました。今、新一万円札に渋沢栄一翁が選ばれたことで、渋沢栄一翁を通し深谷市という町に興味をもっている人が増えて、いると思います。これからも立志・忠恕の心を忘れず、深谷の学生は素晴らしいと思われするように意識していきたいです。

たくさんのありがとう

東京成徳大学深谷高校 三年 市川^{いちかわ} 朱紗^{つかさ}

私が進路のことや友人関係で困った時、いつでも親身になって聞いてくれるお母さんにありがとう。

いつも一緒に遊んでくれたり、行き詰まった時に「大丈夫。」って言ってくれたり、励ましてくれる友達にありがとう。

一人になりたい時、落ち着きたい時自分の感情に合わせて聞ける歌にありがとう。

いつまでも頼ってばかりだけど、いつでも受け止めて、支えてくれてありがとう。これからも、笑って楽しく過ごそうね。みんなの幸せがずっと続きますように。

笑顔と感謝

東京成徳大学深谷高校 三年

大井田 おおいだ

夢果 ゆめか

「ありがとう」と感謝できる人になりたい。「ありがとう」と感謝される人になりたい。私たちの日常は感謝の気持ちであふれている。私を育ててくれた家族、学校生活を明るくしてくれる友達、環境に感謝し、恩返しすることで感謝される。お互いを支え合うことで笑顔も増える。笑顔は周りも幸せにしてくれる。私は、日常生活で笑顔で過ごすことを心がけている。笑顔と感謝の気持ちは他人だけでなく自分の心も明るく成長できると思う。私は、これからも、一つ一つの小さな出来事にも感謝の気持ちを忘れずに生活しようと思う。



《一般 立志の部》

豊かな未来のために。

鳥羽とりば

恵めぐみ

『学問は一種の経験であり、経験はまた一種の学問である』

初めてこの言葉を耳にした時、四人の子を育てる私は共感を覚えました。子供達からは勉強が嫌だと言われてしましますが、学問は学生だけではなく、大人になっても経験する事だと伝えていきます。また、社会に出て経験をすることで、そこでは得られない学びを体験する事が出来る。それこそが、人生の楽しさなのではないかと、私も感じています。自身のより良い人生、より良い未来のために、常に「学問と経験」を心に生活をしていこうと思いました。

人に優しい街・深谷市を目指して！

風間かざま 麗子れいこ

私の夢は、深谷市で暮らす人が困った時に直ぐに誰かに助けを求める事が出来る、人に優しい街作りを目指すことです。現在、毎年多くの人が深谷市に移り住んでいます。その中には、国内だけでなく海外から来られた方も沢山います。折角、御縁があり深谷市に住まわれている方には幸せに生活を送って欲しい。そして、更に深谷市を知ってもらい深谷市を愛して欲しい。そんな熱い思いから、私は深谷市に、深谷市の人々を手厚くサポートする団体を創りたいです。私が団体のリーダーとなり、深谷市の人々が笑顔で安心して暮らせる様に全力で働き続けます。

老後の夢は小説家になることです。

小林 こばやし 千寿仁 ちじみ

『将来の夢は小説家になることです。』今から三十年ほど前、小学生だった私が作文に書いた言葉である。今の自分では『将来の夢』を語る年齢ではない。仕事と家事と育児に追われて目が回るような日々を送っている。

子供の夏休みの宿題を眺めていた時、「自分も作文を書いてみたいな」という強い衝動に駆られた。『将来』ではなく、『老後の夢』で良い。いつか叶うように、この強い気持ちを大事にして生きたいと思った。

私の出来ること

山田 やまだ 敬一 けいいち

私は約九年前に三十五年間勤めあげた官から民へ再就職しました。今の会社は、前職と比べれば規模の小さな組織です。再就職当初は不慣れな仕事に苦勞しましたが経験を重ね、今では何とか板についてきました。

我社は固定給＋歩合給制の給与体系を取っています。ノルマの数は少なくなく大変ですが、月末に目標を成し遂げた時の達成感、充実感は官の時の比ではありません。そして、今の仕事も無事に定年を迎えたいと思います。平凡で小さな目標ですが、この仕事を通じて地域に尽くすことが微力ながら社会の為になればと思っています。

立志の心を心として

高橋 たかはし

衛 まろく

新1万円札発行肖像、渋沢栄一翁は論語と算盤の中で、「自分の務めを果たす時は単に務めるだけでなく趣味を持つて取り組みなさい。智力如何に充分ではあっても、これを働かさねば何の役にも立たない」と述べている。

退職後、家庭菜園に汗を流す。隣畑の婦人は施設入居者の一人で、人々に野菜のおすそ分けをしていた。月日一瞬この縁で介護老人福祉施設で8年間、その後も「自宅を清潔に」との利用者の思いを受けて、訪問介護生活援助を六年間。責務を遂行した。今後は皆様の声を良く聴くことを基本に、生涯学習とその実践に努めていきたい。



《一般 忠恕の部》

皆で支えたい地域の子

大沢^{おおざわ}

つる子^こ

届くニュースは、何かと騒騒しく特に、子どもを巻き込む事件・事故は、言葉で表現は、大きな心の痛み覚えます。地域の子どもは、地域で守る。これは当然と思う。その旨、思う中、私は散歩がてら、地元小学校へ通う子ども達の登下校の見守りしてあげようと、心(志)を立て始めて数年になります。又、地元大寄小学校では、遠い昔から保護者の方が、交代(当番制)で、立哨し安全見守ってます。もう何十年も続いています。私は家の近くで登校見守り、下校時は学校の近くまで行って、子ども達と一緒に。地元駐在のおまわりさんも、お忙がしい中、頑張って下さっています。

忠恕こそが世界を救う

奥田^{おくだ}

豊^{ゆたか}

女医の嚆矢、荻野吟子愛唱の聖句は「人その友のため、己れの命を捐つるは是より大なる愛はなし」であった。洪沢栄一の母恵伊も、ハンセン病を治したい一心で鹿島神社に湧く霊泉を浴びにきた、女性の背中を洗ってやつたという。当時はすぐに伝染すると恐れられていた病気である。周囲の人々にそしられながらも、恵伊はその女性をいたわったのだった。この親にしてこの子あり。洪沢栄一の源流はここなのだ。困っている人、立場の弱い人、悩んでいる人をみて手をさし伸べる思いやり。忠恕こそが世の中を和ませ、ひいては世界平和の根源なのである。

忠恕の心を心として

高橋^{たかはし}

衛^{まもる}

新1万円札発行の肖像、渋沢栄一翁は、幼少期から論語の忠恕の精神を学ぶ。「みらい宣言」は、渋沢栄一翁の忠恕の心を学び、ふるさと深谷と社会との絆を結ぶ出発の日。

私は、論語教室で信頼と尊敬の精神で仮名論語を学習中。学而第一、学びて時にこれを習う、また説ばしからずや。里仁第四、夫子の道は忠恕のみ。人々との生涯学習の楽しさ、真心からの思いやりの心。徳は弧ならず、必ず隣有り。報いを求めず陰徳を積んでいる者は、決して一人ぼっちではない。家族や人々に対して、真心を尽くしていく人生を送りたい。

渋沢家、尾高家との思い出と忠恕の心

鈴木^{すずき} 義子^{よしこ}

私は城山三郎の「雄気堂々」の本を読んで栄一翁のことを知りました。当時主人が深谷に勤めていましたので越すことに。昭和五六年に越して来たのが偶然にも尾高家の隣り組でした。すぐに御不幸があり、食事作りのお手伝いを。また、地区のバレーボールの練習等も尾高家の庭で。その後中ん家へ勤めてほしいとお話をいただき、そのご縁で遊びに行く中で、最後の後継者渋沢多歌子さんとお話を。やさしい方でした。多歌子さんは、夫・亭三さんの遺志を継ぎ、昭和五八年に外国人留学生を受け入れ、渋沢国際学園を設立し理事長に。道を歩いていると留学生たちが自転車に乗って笑顔で元気よく「こんにちは」とあいさつしてくれました。なれない土地で不安だった私に元気をくれました。あの人懐っこい笑顔はとても嬉しく今でも忘れられません。ありがとうございました。

新紙幣とシルクハット

保泉ほずみ 富男とみお

現在世代の年齢別考をまず分析

☆後期高齢者伝統人物を大切にしている
偉人渋沢栄一翁の主旨を大切に保持☆
高齢団塊世代は昔の過ぎ去ったことは考
える必要ない他人に対する感謝思いやり
が精神希薄傾向している自己中心主義者
が多い☆若年層は新しいことを望み進歩
的であるが伝統的良きものは維持改善す
べきことは検討改善すべき意識高い

総合的判断

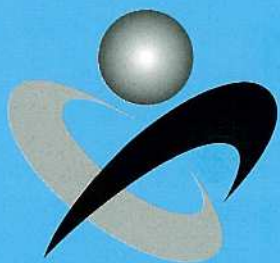
近代日本の経済の父渋沢栄一翁の意志
を評価尊重し現世代は元気で清廉潔白！
な小島進市長を現世代の渋沢栄一翁二世
と考え豊かで安心な明るく楽しい街づく
りを推進することが大切と考えられる。



栄一翁みらい宣言
作品集第1集

令和7年3月発行

発行 深谷市教育委員会
担当課 深谷市教育委員会学校教育課
〒366-8501
埼玉県深谷市仲町1-1-1
TEL 048-571-1211



立志の精神 と 忠恕の心
～夢・こころざし～ ～まごころ・思いやり～
を大切に

深谷市教育委員会
令和7年3月

GREAT PERSON IN FUKAYA CITY
Shibusawa Eiichi

